

まちの話題



省エネの必要性を訴える山川茂さん

省エネの重要性を認識

「夏の省エネ総点検の日」講習会を開催

町民に、より省エネの意識を高めてもらうと、町は八月一日、午後、西原町役場で「夏の省エネ総点検の日」講習会を行いました。

町は平成十三年度に地域省エネルギービジョンを策定し、省エネ対策に積極的に取り組んでいますが、今回、八月一日の「省エネ総点検の日」にちなんで事務担当者や町職員を対象に講習会を行ったものです。

今回の講師は沖繩総合事務局経済産業部石油・エネルギー対策統括官の山川茂氏でした。山川氏は「各家庭で使用していない家電品のコードを抜く、主電源を切るなど、みんなが小さなことを心がけていけば大きな省エネにつながります」と述べました。

講習会は山川氏の講話のあと「今が変われば」と題したビデオを放映し、省エネの必要性を学習しました。



県管内開田地区のエイサー



小瀬郷区のエイサー



観久区のエイサー

勇壮にエイサーの舞

西原さわかじエイサー大会

八月二十四日、県管内開田地区近くのローソン内開田駐車場、内開田地区、小瀬郷区、兼久区の青年会が共催する西原さわかじエイサー大会が行われ、多くの観客を魅了しました。

これは、エイサーの盛んな三自治会が、お互いのエイサーを町民に披露することと、さらなる地域おこしをすすめてよと行われたもので、昨年に引き続き二回目となります。

今回は、企画、運営、広報などすべてを各区の青年会が行いました。

関係者からの激励のあいさつのあとは、さつき各自治会が力強く勇壮な太鼓の舞をみせ、たくさんのお客から大きな拍手が贈られました。

最後は三自治会の青年たちがカチャシーで乱舞し、エイサー大会は最高潮の盛り上がりで達しました。

TOPICS



平和の語りべから戦争の悲惨さ、平和の尊さを学んだ平和講演会

語りべが戦争体験告白

平和講演会

終戦記念日の八月十五日、午後、西原町中央公民館で、西原町主催による平成十四年度平和講演会が行われました。

これは、町が委嘱した平和の語りべによる証言を通して、沖縄戦の悲惨さ、戦争の愚かさを知ることにより、戦争体験を後世へ語り継ぎ、平和の尊さを学ぶことを目的としたものです。



平和の語りべのみなさん
(左から大浜徳彦さん、仲宗根史子さん、比嘉照彦さん、宮平盛彦さん)

この日の講演会では、語りべのみなさんの中から大浜徳彦さん、仲宗根史子さん、比嘉照彦さん、宮平盛彦さんが戦争体験について語りました。

講演者は、大浜さんが「平和は、われわれみんなの力で守らなければいけない」と述べ、仲宗根さんは「若い人たちが戦争体験者の体験談を後世に引き継いでほしい」、比嘉さんは「戦争は皆が鬼畜になる。兵隊は戦争を守らない」、宮平さんは「戦争というものは生きとせけるものをすべて抹殺する悪魔のしわざです」と語り、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを訴えました。

参加者は戦争の悲惨さをあらためて実感したようでした。

語りべのみなさんの活動についてのお問い合わせは、西原町役場 総務課 94515011

西原東中学校なぎなた部が全国優勝



西原東中学校なぎなた部のみなさん

七月二十一日に仙台市で行われた、なぎなたの第十回全国中学生大会で西原東中学校の玉那朝沙耶さんが、小橋川祥世さん組が演技の部で見事優勝しました。また、試合団体の部では西原東中A組が準優勝に輝きました。

関係者や選手は、七月二十三日、町役場に翁長町長を訪れ優勝、準優勝など上位入賞を報告しました。

部長の新垣美保選手は、昨年は先輩ががんばって団体が準優勝できてうれし」とあいさつしました。

西原中学校サッカー部が県民大会で初優勝



西原中学校サッカー部のみなさん

七月二十七日に第二十九回県中学校総合体育大会のサッカーで初優勝した西原中学校男子サッカー部が七月三十一日、午後、西原町役場に翁長町長を訪ね、優勝を報告しました。両校は八月六日から福岡県で行われた九州大会に派遣されました。

キャプテンの与儀清光君は「中学一年から三年まで三年間いっしょけんめい練習してきた思いを試合にぶつけたら結果もついできた。九州大会でもがんばりたい」と意欲をみせていました。